

作成日：令和8年 5月 26日

自己点検評価表

「専修学校における学校評価ガイドライン 改訂版対応」

(評価対象期間：令和7年度)

◆修学支援新制度認定校

◆職業実践専門課程認定校

【認定課程名称：衛生専門課程 美容学科】

令和8年5月報告

学校法人愛知産業大学

名古屋美容専門学校

自己点検評価表（専修学校における学校評価ガイドライン 2025改訂版対応）

実施日：令和7年4月22日（水）

学校名：名古屋美容専門学校

◎：必須項目 ○：簡易に評価 △：任意項目 認：認定制度における必須項目

3. 評価項目の達成及び取組状況

【項目 1】教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス	自己点検	第三者
1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3	ホームページ（VISION）、学生ハンドブック（P14）、パンフレット（P17）	◎	◎

① 状況説明

【教育理念】

美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

美容師としての志を高く持ち、社会人として必要な素養、プロフェッショナルとしての自覚、専門知識・技術、教養を備え、美容業界の将来を担う人材育成を目指す。

② 課題及び今後の改善方策

教育理念、目標の告知方法において、印刷媒体からWEBへの移行。

専門学校の役割として、即戦力の職業教育を実施するため、常に外部の意見を取り入れてPDCAサイクルを繰り返し、時代に合った美容師の育成の努める。

③ 特記事項

毎年、ホームページや学生ハンドブックに教育理念や学校のモットー、3つのポリシー、求める人物像について、詳細を掲載している。

職業実践専門課程の認定、ならびに修学支援新制度の対象校としての認定を受けている。

【項目 2】教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス	自己点検	第三者
1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・階性に配慮した授業科目を配置していること。	3	HP、学則、学生ハンドブック、募集要項（P5）、シラバス、教育課程表（カリキュラム）、学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録	◎	◎
	②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300時間以上開設していること。 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	除外	評価項目から除外	認	認
2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	シラバス、教育課程表、授業ファイル、学生ハンドブック：試験及び成績評価（P26～30）	◎	◎
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。 教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。 【注】職業実践専門課程】	3	シラバス、教育課程表、成績評価表、授業アンケート、職業実践専門課程__別紙様式4、（試験実施要項及び採点結果とそれに係る業務委託契約書）職業実践専門課程__別紙様式等	認	認
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	シラバス、学則、募集要項（P5）学生ハンドブック_卒業進級規定（P31）進級審査会議資料、卒業審査会議資料等	◎	◎

4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2	シラバス、検定及びコンテストの結果報告書、国家試験合格率	◎	◎
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2	就職活動状況報告書、中長期計画書類	◎	◎

① 状況説明

2-1①カリキュラムポリシーに基づきカリキュラムが作成されている。

2-2①シラバスがHPにて公開されている。

2-2②職業実践専門課程_別紙様式4にある通り、企業連携を行っている。

2-3本校の卒業要件は学生ハンドブック（P31）に記載されている。

2-4①検定及びコンテストに向けて、各科目または希望者が目標を定めている。またその結果は報告書から確認ができる。

2-4②担任及び就職担当者を中心に学生の意思を尊重し目標を定めている。進捗、結果は就職活動報告書から確認ができる。

② 課題及び今後の改善方策

2-1①カリキュラムマップを作成していないため、各科目における系統性や段階性を可視化する必要がある。

2-2②職業実践専門課程_別紙様式4の更新が必要である。

2-4①学生個人での目標を明確にする。その結果をまとめるポートフォリオの作成。

2-4①②とも関連しているが、学生個人でのレポート等の簿冊管理体制が甘い

③ 特記事項

2-4①国家試験合格率において、毎年全国平均を大きく上回る合格率を挙げている。

2-4②就職活動報告書は、過去の採用試験の情報も公開されており、在学生の参考になる資料となっている。

【項目 3】 学生の受入れ、学生支援

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス	自己点検	第三者
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	3	募集要項、アドミッションポリシー、入試実施要項、入試選考結果議事録	◎	◎
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注】修学支援新制度機関要件の確認 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	3	学則、学校基本調査、出願者旬報	◎	◎
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2	シラバス、入学前教育プレスクール、入学後の素養試験結果、成績表、補講実施記録、特別教室使用予約表	△	△ (◎)
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	2	職務分掌表、施設・設備一覧	△	△ (◎)
	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	無認可	評価項目から除外	認	認
	④カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2	内部通報窓口の設置、学生面談記録、保護者面談記録、委員会・プロジェクト担当一覧（内部通報相談窓口）	◎	◎

4 学生生活に関する支援	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	学生対応記録、退学者減少プロジェクト記録	◎	◎
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	3	健康診断実施要項、年間行事予定表、校舎図面（保健室設置）、学年歴（定期清掃）、水質検査記録	◎	○（◎）
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	募集要項（P2～4）、奨学金資料、分割納入一覧、若者シェアガレージ	△	△
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	シラバス（キャリアデザイン）、学内就職説明会、外部主催業界就職説明会	◎	◎

① 状況説明

3-1①募集要項2026（P1～5）に3つのポリシーおよび出願基準や選考方法を明記。入試選考においては役職者全員にて実施している。

3-1②入学生の受け入れは過去10年以上、毎年定員の160名を確保できている。

3-2入学予定者を対象とした入学前教育プレスクールを11月から3回実施。入学後には素養試験（学科）を実施している。

3-3①車椅子でも施設内の移動が可能なバリアフリー化を進めている。入学基準を満たしている者は高校生、大学生、社会人、学国籍などアドミッションポリシーに沿って公平に選考試験を実施している。

3-4①学生への相談対応は担任と学年主任が連携して実施している。また令和7年度から内部通報相談窓口を設置して、男女の担当者を設けている。相談場所として応接室を利用。学生との面談記録は校務システムヨリソルにて管理している。

3-4①校務システムヨリソルにより、保護者も子ども（学生）の出欠・成績状況をいつでも閲覧可能。

3-4①法令の範囲内でメンタル不調な学生に対して、オンライン授業を実施。

3-4③毎年4月に健康診断を実施。欠席者には学園姉妹校の実施日に受診させている。

3-4②退学防止プロジェクトにてPDCAを回している。

3-4④学納金の延納分納申請者や修学支援制度に対応している。

3-4⑤入学して早期から外部主催の業界就職説明会に複数回参加。キャリアの授業では年代別の卒業生やサロンオーナーを講師に招き現場の声を聞かせている。就職の相談や指導は担任と就職担当者が連携して実施。

② 課題及び今後の改善方策

3-2基礎学力の低い学生へのサポート体制が担任主導になっているため、学校としてのサポート体制を構築。

3-4①学生ハンドブックに内部通報相談窓口の内容を記載する。外部カウンセラー相談窓口設置の検討。

③ 特記事項

3-4①年に1回保護者会を実施して、学校と保護者の両面からのサポート体制を取っている。

3-4②令和7年度の退学者プロジェクトの施策により、新入生の退学者が前年度13名（全体の8.1％）から8名（全体の5.0％）に減少。

就職のミスマッチを防ぐために1年時に2回サロンでのインターン研修を実施。先方（サロン）の承諾を得られれば東京の志望サロンにも出向して！

【項目 4】教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス	自己点検	第三者
1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	3	学園規定、教員担当科目一覧表	◎	◎
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2	授業計画表、教員担当科目一覧表、非常勤講師一覧、学生授業アンケート、人事評価票	△	△（◎）
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3	組織図、職務分掌表、教員担当科目一覧表、各会議、委員会議事録	◎	◎

	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	3	組織図、職務分掌表、教員担当科目一覧表、各会議、委員会議事録	△	△
3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(FacultyDevelopment)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2	教員研修報告書、技術向上プロジェクト資料	◎	○(◎)
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。 【注】職業実践専門課程】	2	教員研修報告書、職業実践専門課程_別紙様式4	認	認
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。 【注】職業実践専門課程】	2	教員研修報告書、職業実践専門課程_別紙様式4	認	認

① 状況説明

4-1①教職員の採用は学園規定と本校の基準（養成施設での資格要件を満たしている）を元に適切に実施。

4-1②授業計画に基づき、適切に教員を配置。

4-2①毎月、運営委員会、教務委員会、職員会議を実施。各プロジェクトでも必要に応じて情報共有を実施。各体制は職務分掌表に記載。

4-3毎年、時代背景を見ても必要とされる教員研修を実施。教員の技術力向上においてはプロジェクトを設置して毎週定期的な実施。

② 課題及び今後の改善方策

4-1①中長期での運営を視野に入れ教員確保に努めていきたい。

4-1②学生からの授業評価しか実施していないため、教員間、第三者からの評価を検討。教員のスキルアップに更なる施策を導入する必要がある。

4-3企業との連携も図りながら研修を実施しているが、その成果が測定されていない。教員研修においての中長期計画（PDCA）が必要である。

4-3今後の社会的ニーズとなる遠隔授業への対応力。卒業後生が即戦力となるための技術力や人間力の修得の向上計画。

③ 特記事項

【項目 5】教育環境

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス	自己点検	第三者
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3	専修学校設置認可申請書、教育備品一覧	◎	◎
	②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	3	施設配置図、特別教室使用許可書、現場確認	△	△
	③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	3	図書コーナー、現場確認	△	△
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	危機管理マニュアル、地震防災マニュアル、消防計画規定、リスク管理規定、防災訓練実施報告書	◎	○(◎)
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	危機管理マニュアル、地震防災マニュアル、消防計画規定、リスク管理規定、防災訓練実施報告書	△	△(◎)
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	3	消防設備点検報告書、補修・修繕の記録	△	△(◎)
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	3	事業計画、予算書、稟議書、補修・修繕の記録	△	△(◎)

① 状況説明

5-1①校内全域をWi-fi完備としてDX教育を推進。令和7年度よりクラウド型の校務管理システムを導入。

5-2①令和7年度より不審者の侵入を未然に防ぐために玄関（自動ドア）に顔認証セキュリティシステムを導入。

5-2②災害による緊急時の対応を学生ハンドブックに掲載。南海トラフ地震の発生を想定した名古屋市との連携事業「金山駅周辺地区困難者対策協議会」に登録。

5-3法令に沿って消防設備点検やエレベーター、自動ドアの保守管理点検を実施している。

② 課題及び今後の改善方策

5-1③図書台帳の更新

5-2①学校安全計画の作成と掲示。

5-3校舎の老朽化に対応したエアコンの交換や外壁の修繕を計画。

③ 特記事項

5-1②学生の休憩スペースに飲料水やアイスクリームの自販機を設置。

5-2①学校を運営する上で学生生活の安心・安全は教育活動以上に最優先すべき事項としている。

【項目 6】 教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検評価	エビデンス	自己点検	第三者
1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	3	第三次中長期計画書	△	△ (◎)
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	貸借対象表、事業活動収支決算書、事業報告書、資金収支決算書	◎	△ (◎)
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	3	就業規則、組織図、運営委員会報告書、教務委員会報告書、事業計画書	◎	◎
3 学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	3	学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録、自己点検評価報告書	△	△ (◎)
	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。 【注】 職業実践専門課程】	3	教育課程編成委員会議事録	認	認
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	保護者面談記録、保護者アンケート、授業アンケート、サロンアンケート	◎	○ (◎)
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	3	事業計画、学校関係者評価委員会報告書	◎	◎
4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	HP、学校案内、インスタグラム（SNS）、職業実践専門課程別紙様式4	◎	○ (◎)
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	3	HP、各種イベント報告書	△	△ (◎)

① 状況説明

6-1①学園全体で第三次中期計画（2023～2027年度）KPI数値目標計画を実施中。

6-1②母体となる学校法人愛知産業大学にて財務管理がなされ、安定した経営と教育活動が遂行されている。

6-2毎月、職員会議、教務委員会、運営委員会を実施しており、議事録を残している。

6-3①春と秋の年2回、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を開催して外部の評価・意見を受けている。自校ホームページに情報を公開。

6-4①ホームページや学校案内に留まらず、日常見易いInstagram（SNS）にて学生生活や学習成果、イベント等を日々発信している。

6-4②秋の学校祭はハロウィンと兼ねて保護者、友人、近隣の方々を招いて模擬店や学生サロンを実施。

② 課題及び今後の改善方策

6-3①教育課程編成委員会の目的の明確化と精度の向上。

③ 特記事項

6-4②修得した美容技術を社会ボランティアとして発揮するべく、AICHI SKY EXPO（9/27.28）で韓国メイクの体験、介護イベント（2/15）でヘアメイクを担当。

6-4②若者に人気のインフルエンサーのフリーマーケット（12/21）の会場として校舎を貸し出す。